

藤馬龍太郎会誌

発 同志社大学法学部「藤馬会」事務局

行 (0720) 33-8635

第8号

龍のおとし子

1997年2月 (題字・藤馬龍太郎筆)

年会費(1500円)の振り込みは…

口座名: 同志社大学藤馬会 田中康博

(宇治市木幡御蔵山39-390)

富士銀行 出町支店 普通 1538207

住友銀行 伏見支店 普通 774027

京都銀行 六地藏支店 普通 856895

京都中央信用金庫駅前支店 普通 0582105

偶 感

同志社大学教授 藤馬龍太郎

春の待ち遠しい今頃、梅の香に春のきざしを感じうれしく思うものです。春といえは年度末、新年度と続き、それぞれの人生のポイントを新しい進路に向って行き交う季節でもあります。卒業、入学、就職、転職、それらに伴い暮しの場を移ることも有るでしょう。生れ育った地、学び舎、あるいは人生の一時期を過ごした地などを離れ新しい経験を重ねるための旅立ち、言い替えばそれは新しく故郷を作ることなのかもしれません。

私は幸か不幸か、生れ育った地より離れて暮したことがほとんどありません。故郷は遠きにありて思う

藤馬会会長 永田 和行

第十一回 藤馬会に寄せて

英語では同窓会のことを HOME COMING DAY といいます。日本語では HOME COMING DAY になる日だと思ひ、その心で暮らそう。時の流れは速く否応なく



たかと思つてはいるのです。しかし、技術革新が進んだところで、早稲の梅の香は野や山で感じたいし、又人とのふれあいは故郷で何をしようとするでもなく、ただ交わりを持ち、ふれあいの温さを確かめたいものだと思ふのです。(67年度生)

第十一回の藤馬会を迎えることができたことを「龍のおとし子」の紙上を借りて会員の皆さんに厚く御礼を申し上げます。これも一重に皆さんの協力を多量に蒙り、藤馬会の為に深甚なご尽力とご苦勞を頂いている役員の方々の御協力と心から感謝いたします。会の発足当初は正真正正にこんな定期の年に十年以上も続くと考えたていられません。他大学の友人から、この種の会というものは、長く続けられ続けられ、それなりにいろいろと難しい問題も生じ、会の運営にも困難が伴うものだと、その経験談を聞かされた一言が添えられているご苦勞がよくわかり、感謝の言葉もありません。

そのなかには一通、四回の伊予三島市の卒業生からのものがあつた。「平成八年度の司法試験に合格しました。受験歴は5回(短答5回論文4回口述1回)でした」という文面です。実は法・事務系の資料では、合格者十名のうち、「水谷恭子」さんの項だけは「卒業年次一九八〇」とあるだけであつた。卒業生や現役

学生の中に「短答式」に関するものは九名の合格、もう一歩手前の入試が何人か、本年のもの、残念ながら、本年度の挑戦に大なる期待を抱いていたところだったので、この快挙は、司法試験や各種公務員試験、さらには民間の就職試験を目指す人達にとつて、大いに奮発の契機となつてくれるのではと思ふ。



一九二一年の正月、ドイツのマルブルグで三木清(治安維持法違反で未決拘留中、網走刑務所で終戦直後、獄死)が賀茂川の堤を思い出しながら、哲学のきびしい求学の心象風景を詠んで友人に送った詩、私の愛唱してやまない一節を紹介いたします。

日々、切磋琢磨

大学院法学研究科 瀬井 明子

今年の四月に大学院に入院して以来、関西屈指の設備と評判の高い大学院棟である博愛館の一室の机を使わせて頂いて日々勉強に励んでおります。

「大学院改革」が叫ばれて久しいですが、我が同志社大、特に法学研究科は日本大学のうちでもいち早く改革に着手しその門戸を広げたため司法試験をはじめとする各種試験を目指す学生が非常に多く、一昔前の様に研究者志望の学生がいくつとなく減った感じがする点が、以前の大学院とは大きく異なる面であると思ひます。しかし、今も昔も院生の仕事は勉強であることに何ら変わりはない、各自の勉強に加えて講義の発表・年度末の単位論文の作成等におかれ、又来年には集大成としての修士論文の執筆があるためその下準備的な勉強も進めている次第です。ただ「先生の修論指導は厳しいぞ」との先輩方のお言葉を耳にすると大丈夫かなと不安になります。が、厳しくして下さるのも偏に先生の愛のムチであるわけですから、有難くお受けして充実した修論がかけよう切磋琢磨していこうと思ひます。

最後になりましたが藤馬会の皆様方の御活躍をお祈り申し上げます。(92年度生)



悔いなく 全力投球

阿知波 由理

藤馬先生との思い出の一つに、在外研究先のフランスから届いた絵はがきがあります。これは、女子学生だけの特典だったように覚えていたのですが、写真は、古い民家やマルセイユ湾や、小島、極め付きは、香りのするバラの絵はがきです。いざいざと、びっしりと万年筆の太い文字が並んでいて、今でも大切に残しているものです。

私の学生時代は、クラブ活動中心の四年間で、学業面では、目立つことのない学生でした。四回生の就職シーズン、みんなの目が血走っている頃、私は、大会、試合を控えてまだ、クラブ活動の毎日でした。目の前のことに必死で、卒業後のことなど、ぼんやりかすんでいました。私を察して、

「大学生としての生活は、か、届いたばかりには、」

藤馬先生の思い出の一つに、在外研究先のフランスから届いた絵はがきがあります。これは、女子学生だけの特典だったように覚えていたのですが、写真は、古い民家やマルセイユ湾や、小島、極め付きは、香りのするバラの絵はがきです。いざいざと、びっしりと万年筆の太い文字が並んでいて、今でも大切に残しているものです。

OB通信

北から・南から

だちと思ひ出話が尽きず、二次会、三次会。今が、一番いいときであり、社会人になると、きつと懐かしさで、毎日です。目の前のことに必死で、卒業後のことなど、ぼんやりかすんでいました。私を察して、

最後に、皆様がお仕事やご旅行で泉佐野市に立ち寄られた際に、私の事を思い出していただければ幸いです。(90年度生)

四回生活活動報告

●自分の生き方を

見つめて●

今年の就職活動は、「明でいたからです。現代社会を見えてきた」「超氷河期を脱した」とマスコミ等で報道されていましたが、私達にとっては初めての経験であるので、そのようなことは実感する余裕はありませんでした。つまり、私達にとり、志望の会社・官庁等で働くこと、また各種資格試験に合格し独立することは、いずれにせよ、難関であるということに相違ないのです。

後期になって、ゼミのメンバーが集まってきました。数で行われていました。公務員や国家試験受験の人はそれぞれ勉強に、民間企業志望の人はセミナーや面接に毎日のように足を運ん

追伸 四回生ゼミ対抗フットボール大会が行われ、我が龍馬ゼミは準優勝という好成績を収めることができました。選手・応援の方々にありがとうございました。

4回生 田口 修由 (93年度生)



●かけがえのないもの●

もうすでに卒業されたOBの皆様は、龍馬ゼミでの二年間を、どのように過ごしたにしろ、このように思い出がけがえのないものであ

私達も早いもので間もなく卒業を迎えようとしています。思えば、大学生活の中で大きなウェイトを占めたのが、この龍馬ゼミでありました。龍馬先生や多くのゼミの仲間と知り合えたこと、充実した日々を過ごせたように思いま

三回生時には、基本的な権を、四回生では、統治機構を中心に学び、多くの意見を交わしました。そこで学んだものは、大きかったように思います。また、ゼミでは、勉強だ

4回生 西井・桐村 (93年度生)

三回生活活動報告

●ひとつひとつが

大きな財産●

本年度の三回生ゼミは、男子四名、女子一名の合計五名という大所帯になりました。

このように大所帯では、ゼミ生同士親しくなっていくのはないかとも思われましたが、様々な活動を通じて、和やかな雰囲気が出てきてきました。

本年度の三回生ゼミは、男子四名、女子一名の合計五名という大所帯になりました。

このように大所帯では、ゼミ生同士親しくなっていくのはないかとも思われましたが、様々な活動を通じて、和やかな雰囲気が出てきてきました。

特に、ゼミ旅行は意義のあるものとなりました。

まだまだ勉強の日々

秋田 智香子

昨年は、久しぶりに馬会に出ることができ、おまわりのない龍馬先生や友人達に会えて大変楽しい一時が過ぎました。これも幹事の方々の努力のおかげと感謝しています。

現在、私は京都で家業の不動産会社を手伝っています。宣伝させていた

不動産といえは、よくないイメージも一部にはありますが、お客様の大切な財産を扱う商売です。誠意をもって業務にあたると、それを認めていただいた時には強い信頼関係を築くことができます。そのためには、法律を含む多くの知識が

の残りがある町の雰囲気を感じた。

ゼミ生の親睦を深めることができ、楽しい旅行になったと思います。後期に入ってから、授業もスムーズに進められるようになってきました。

授業では、毎回四人のグループが基本的な権利についての報告を行うという形を継続しています。このような一つ一つの活動が大きな財産となるのだと思います。二度とはない大学生活を充実したものとするべく、よりよいゼミにして行きたいと思っています。

3回生 河野・岡本 (94年度生)

新たな生活へ

東 操

昨年、初めて馬会に出席させていただきました。十何年ぶりに龍馬先生にお目にかかりました。髪は白くなりましたが、変わらず

が、龍馬会に参加できたこと、思いを述べられました。そして、今春東京への転勤が決まり、大阪を離れます。寂しい限りですが、そこはプラス思考で、また四人力を合わせて中々の内容の発表が出来たと思いま

転勤先での友達の和が私の財産なのですから。ちやうど、長女の高校受

まっています。



OB通信
東から・西から

多忙な

社会人生活

佐々木 聡子

大学を卒業して半年、社会人として多忙な日々を過ごしています。私は龍馬ゼミに三回生からお世話になって

おりましたが、ゼミは公私のけじめがしっかりした明るい雰囲気でした。龍馬先生の発表前の打ち合わせも様々なアドバイスを頂き、

行などの遊びの面に関して幹事会を中心によくまとまって行動していましたし、

龍馬会も今年で11回目を迎えることとなり、「龍のおとし子」も第8号をお届けすることとなりました。

この会報が出来るまでには苦勞もありましたが、多くの方々に支えられて発行することが出来ました。この場をお借りし、原稿を御執筆頂きました龍馬先生をはじめとし、卒業生、現役生の方々に厚く御礼申し上げます。

僅か2ページの会報ですが、この紙面を通じて、卒業生と現役生がよりよく知り合い、交流が少しでも深まる契機となりましたら幸いです。

4回生 西井 晃一 (93年度生)

編集後記

～事務局より～



龍馬会も今年で11回目を迎えることとなり、「龍のおとし子」も第8号をお届けすることとなりました。

この会報が出来るまでには苦勞もありましたが、多くの方々に支えられて発行することが出来ました。この場をお借りし、原稿を御執筆頂きました龍馬先生をはじめとし、卒業生、現役生の方々に厚く御礼申し上げます。

僅か2ページの会報ですが、この紙面を通じて、卒業生と現役生がよりよく知り合い、交流が少しでも深まる契機となりましたら幸いです。

4回生 西井 晃一 (93年度生)